

■鹿沼市新庁舎 事業費検討【既存新館利用案と全館建替え案との比較】

		①新館利用案 (税込)	②全館建替え案 (税込)	備考
1	仮庁舎	—	—	
2	既存新館解体	—	1.1億	3,300㎡
3	既存新館・既存東館改修	6.7億	—	新館:2,900㎡、東館:1,400㎡
4	行政棟・議会棟新築	41.0億 耐震 (42.5億 免震)	—	行政棟:7,200㎡、議会棟:950㎡
		—	50.3億	行政棟:9,050㎡、議会棟:950㎡
5	既存本館・既存東館 解体・外構	4.3億	4.3億	本館:4,200㎡、東館:1,400㎡
6	諸経費	4.5億	—	各種調査費、設計監理料、 備品購入費、引越費用等
		—	3.6億	各種調査費(新館詳細耐震調査を除く) 、設計監理料、備品購入費、引越費用等
計	イニシャルコスト計	56.5億 (58.0億 免震)	59.3億	
7	将来新館解体(2040年)	1.0億	—	2,900㎡
8	将来新館改築(2040年)	8.1億	—	1,850㎡
9	光熱水費(2022-2040年) 交流棟、行政棟、議会棟 の目標耐用年数(60年) まで	5.6億	—	交流棟:2,900㎡、 行政棟・議会棟:8,150㎡
10		—	5.0億	行政棟・議会棟=10,000㎡
11	光熱水費(2040-2082年) 行政棟、議会棟の目標 耐用年数(60年)まで	8.8億	—	
12		—	8.8億	
計	トータルコスト計	80.0億	73.1億	

- 条件
- ②の場合、東館は行政棟Ⅱ期工事終了まで継続利用します
 - ②の場合、延床面積は、10,000㎡程度とします
 - ②の場合、行政棟の構造は耐震構造とします
 - 本館及び新館解体にはアスベスト撤去は含まないとします
 - トータルコストは、別途保全費、修繕・更新費が必要となります。